

早明浦病院 介護老人保健施設レイクビューさめうら

vol.44 平成 28 年 1 月

医療法人 十 全 会

発行：医療法人十全会広報委員会

所在地：高知県土佐郡土佐町田井 1372

電話：0887-82-0456 (代表) FAX：0887-82-0459

ホームページ <http://juzen-kai.or.jp/>

湖 畔

新年あけましておめでとうございませす

医療法人十全会 理事長（早明浦病院 院長）

古賀 眞紀子

平成 28 年の年頭に当たりごあいさつを申し上げます。

私ども医療法人十全会は、病院、老健施設、通所リハビリ、居宅介護支援事業所、ヘルパーステーション等の運営を通じて、地域の皆様が必要とする医療、福祉、介護を出来る限り地域で提供することが出来ますよう日々、業務に取り組んでいます。

医療を取り巻く環境は、国や県の政策に大きく影響され、年々厳しさを増しております。

各種医療制度の見直しのほか、診療報酬では、実質マイナス改定が続いています。また、今期の介護報酬についても、マイナス改定となりました。

現在、私どもが注目していますのは、病床機能報告制度の施行とその結果を受けて平成 27 年度に県が策定する地域医療構想の行方でありませす。

病床機能報告制度は、昨年 10 月から始



まりました

が、地域の医療機関がどのような医療機能を担っているのか、その実態を県に報告するものです。

その報告を受け、県では、「団塊の世代」の方が 75 歳以上となる平成 37 年（2025 年）の医療需要を踏まえ、目指すべき医療提供体制やそのために必要な施策を盛り込んだ地域医療構想（ビジョン）を策定することになっています。

どのような構想が策定されるのでしょうか。他の地域と同様に嶺北地域にも嶺北ならではの事情があります。病床機能報告など、様々な機会をとらえて地域の実情を把握いただき、これから先も地域の医療が持続発展で

きますよう地域医療構想（ビジョン）に反映していただきますよう願っています。

十全会では、これらの長期にわたる構想に注意を払いながら、運営するすべての事業において、より一層、質の高いサービスを提供することで、地域の皆様から信頼され、ご利用いただける病院、施設となりますよう努めて参ります。

今後とも地域の皆様の変わらぬご指導、ご支援をお願い申し上げ、年頭のご挨拶といたします。



早明浦病院 訪問リハビリテーション・訪問看護サービス再開 専門職のスタッフがご自宅に伺い支援します

「住み慣れた嶺北で少しでも長く在宅生活を送りたい」という要望にお応えすべく、早明浦病院リハビリテーション科は、昨年12月末から「訪問リハビリテーション」(以下「訪問リハ」といいます。)を再開しました。

訪問リハは、介護保険認定を受けている方で、通院困難な方がその対象者となります。

利用者の生活の場にお伺いして、日常生活の自立と、家庭内さらには社会参加の向上を図ることが、大きな目的です。

訪問リハの特徴

当院の、訪問リハの特徴は、以下の5点です。

① 介護支援専門員(以下「ケアマネ」といいます。)等の関連職種と積極的な連携を図り、チーム員としての専門性を発揮する。

② 心身障害、生活障害、住環境を確認して自宅生活の中で、利用者自身の機能の維持向上を図りつつ、医療機関では行うことが出来ない、実際の生活場面に即した能力的な部分へのアプローチを行う。

③ 理学療法士、作業療法士等の国家資格を有した

専門職が、利用

者本人とご家族の生活再建、安定、発展を手助けします。

④ その人らしい在宅

生活の提案と支援をします。

⑤ 院内に「認知症初期集中支援チ

ーム」を立ち上げており、国の定めた研修を終了した専門スタッフがおります。受診や介護サービスにつながっていない利用者への自宅訪問を行い、評価し、的確なサービスへの橋渡しも行います。また、受診の際は、精神科専門医が行う「もの忘れ外来」(予約制)や訪問看護の利用も可能です。

ご家族、ケアマネ様へ

特に長期入院後の在宅生活は、利用者、ご家族にとって嬉しい出来事の反面、実際には生活できるのか? という不安を抱えている方も少なくありません。また、退院後の在宅復帰のために、住宅改修してみたものの、



単発の外泊訓練で、数回試しただけの、手摺、福祉用具の使用訓練では不安をぬぐえない方も多いと思われます。このような場合にも、退院される医療機関と連携を取りながら柔軟に対応させていただきます。

訪問看護とは

早明浦病院では、訪問看護も行っています。このサービスは、看護師等がご自宅などの生活の場へ訪問し、病状や療養生活を看護の専門家の目で見守り、適切な判断に基づいたケアとアドバイスで、在宅での療養生活が送れるように支援するものです。



私たちが伺います!

また、医師や関係機関と連携をとり、さまざまな在宅ケアサービスの使い方の提案などもします。詳細につきましては、病院窓口又は担当ケアマネにご相談ください。

地産地消 レシピ

みそを食べると老化を抑えるという研究発表もありますよ。

<材料 10 個分>

地元のおいしい味噌 (愛用味噌) ……120g
かつお節又は、かつおふし粉 ……15g
だしの素 ……8g

みそ玉

いつでも簡単に出来たての味噌汁が味わえるみそ玉を作ってみませんか?

<作り方>味噌、かつお節、だしの素を混ぜ合わせて、10 個分にわけラップで包み丸めます。冷蔵庫で約3 週間保存できます。

具と一緒に丸めてもよいでしょう。ただし具の種類によって長期保存できませんので気をつけてください。

具:乾燥わかめ、乾燥ねぎ、麩、ごま、とろろ昆布、乾燥油揚げ等
<食べ方>汁椀にみそ玉を入れて、お湯をそそぎます。お湯の量は好みですが、160ml ~ 180ml 程度でしょう。

【栄養科】



西村管理栄養士

第8回糖尿病教室 開催のお知らせ

講師…上田圭介先生

テーマ「薬物療法」(日本糖尿病学会専門医) ……インスリン療法

日時…1月27日(水)午後1時、場所…早明浦病院5階会議室

※ お誘いあわせの上、ふるってご参加ください。

レイクビューさめうら恒例の年末行事で盛り上がる

●忘年会●

12月16日年末恒例の忘年会を行いました。

昼食には栄養科特製の松花堂弁当を食べていただき、午後からは、

各部署の職員が催し物を行いました。5階職員の寸劇「大きなかぶ」は入所者様にも参加していただき、全員



パッカーン

で「うんとこしょ、どっこいしょ」の掛け声でかぶを引き、大いに盛り上がりまし

た。6階職員

員は二人羽

折と芸者ワ

ルツの踊り、通所リハビリは桃太郎の劇を披露しました。

手作りの衣装や大きな桃など小道具に工夫を凝らし楽しんでいただきました。最後に入所の美川晴敏様

所リハビリは桃太郎の劇を披露しました。



皆様、昔を思い出して生き生きと参加されていました。白と杵でついた、つきだての餅の味は格別だったようです。



●もちつき●

12月9日、ご家族

様のご協力のもと餅つき大会を行いました。

皆様、昔を思い出して生き生きと参加されて

いました。白と杵でついた、つきだての餅の味は格別

だったようです。

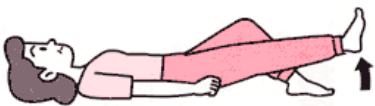


うんとこしょ、どっこいしょ

リハビリテーションワンポイント講座

膝関節のリハビリテーション⑤

変形性膝関節症に対する筋力訓練は、膝への負担を和らげるためにも重要です。一般的にまずとりかかるのが「大腿四頭筋」を鍛える訓練です。まず、足を延ばして横になり、悪くない側の膝を直角に曲げ、痛む方の膝はできるだけ伸ばすように力を入れます。できれば足首は少



し反らすように意識してください。そしてゆっくりでいいので、膝を伸ばしたまま反対側の膝の高さまで持ち上げて5秒間止めます。5秒たったら足を下ろし、身体を力をつけてください。これを1セットにして、朝・晩20回を日課にしてください。

【リハビリテーション科】

リハビリについて聞いてみたいことはありませんか？理学療法士がご質問にお答えします。

想い出のアルバム

あの日のあの時

44



石田 登様 通所リハビリ利用
昭和3年5月25日生 87歳

土佐町南川で一人息子として生まれる。結婚して2女をもうける。年上の妻は15年くらい前に、83歳で亡くなり、現在一人暮らしです。若い時は近所の人と紙の材料となる楮を栽培して、畑から木を切ってきて蒸して剥いてというお手伝いをしたり、明治建設に働きに行っていました。建設会社のは、九州や沖縄などいろいろな所に連れて行ってもらい、とても楽しかったです。人の中に出て行くのが好きで、南川の百万偏のお祭りで5貫もある縄を皆で担いで回ったり、升形の出雲大社のお祭りにもよく行きました。末広に歌手が来て見に行ったこともありました。昔は南川も人がたくさんいて賑やかでしたが、今は人口が減って、淋しい限りです。今では懐かしい私の思い出です。



楮の皮剥ぎ作業



平成18年歌手の川野夏美さんと

早明浦文芸 歌壇・俳壇

クリスマス 灯りこぼるる 老ホーム

風花のひとひらかかる 虹の彩いろ

石川 純子様

道行けば 銀杏の落ち葉が 風に舞ふ

年老いぬ 注連^{しめな}綱^なふ手元もどかしく

大久保 幸子様

新年や 大國様の
護符くる

七草や 芥のほのかに 匂ひ立つ

西峯 美恵子様

クリスマス会と
アニマルサンタ

12月21日、老健でクリスマス会を行いました。サンタクロースに扮した職員がプレゼントを配り、今年にはパーティ形式のクリスマス会を楽しんでいただきました。

今月はアニマルセラピーで訪問の犬もクリスマス装いでした。



4階療養棟楽しいお誕生会

4 階介護療養型病棟では、12月2日、恒例のお誕生会を開きました。今回は10月～12月生まれの14名様に、花かざりと色紙を手渡しながら、おひとりお一人に「おめでとうございます。』と、ご長寿をお祝いしました。ちなみに今回の最高齢は、大正6年10月生まれ、98歳の和田徳美様でした。

その後、「民舞 輪の会」の会員さんが、踊りを披露してくれました。着物姿のしつとりした女踊りや袴姿の男踊り、ひょうきんなくくし芸に「きれいなねえ」「着物はやっぱりいい」「かつこええ」と手振りをまねたり、大ニコニコで拍手をする姿も見られました。

記念撮影後は、久し振りにご家族と一緒におやつをいただきながら、なごやかなひと時を過ごしました。



作：澤田あい



◆Teamさめうら◆
リレーマラソンに出場

11月29日（日）第2回 Hills xリレーマラソン大会に、早明浦病院の、「Teamさめうら」が参加しました。メンバーは大野医師と看護師、介護・リハビリ職員など総勢8名の男女混合チームです。フルマラソンの距離をリレー形式でたすきをつなぎ、初出場ながら250チーム中28位の好成績でした。「予想以上に大勢の参加者で、会場の空気に圧倒されたが、いつもとは違ったルールで、楽しく走れた」と参加した職員からの感想でした。



ゴールテープを切る大野医師